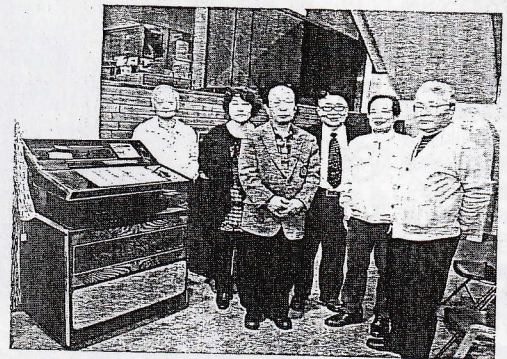


アナログ文化 伝



アナログ機器の修理や技術者の育成に取り組む「徳島エジソン工房」のメンバー—徳島市福島1の市立木工会館

「アナログ文化を継承していく。活動の第一弾として17日、故障した1964年製のジュークボックスの修理を徳島市立木工会館で実現し、レコードの豊かな音域を再現する。

徳島エジソン工房は、30代70代の元会社員や電子部品販売店経営者ら12人で、米国の発明王エジソンが生まれた2月11日に発足した。メンバーのほとんどがアナログ機器の修理や産業用機械などの設計を手掛けた経験があり、電子回路や部品に関する豊富な知識を持っている。

リーダーを務めるのは徳島市川内町加賀野の古物商近藤俊興さん(76)。修理を受けられなくなった製品が無造作に捨てられる現状

担い手も育成 17日、徳島市で修理実

める。もう一つの柱は技術者の育成で、今夏、中学生対象のワークショップを開き、真空管ラジオ作りを手ほどきする。デジタル機器しか知らない世代にアナログ機器の仕組みを伝え、ものづくりへの関心を高めてもらいたい考え。

近藤さんは「昔の製品でも部品さえあれば直せるので、捨てる前に声を掛けてほしい。活動に協力してくれるメンバーも募っている」と話している。

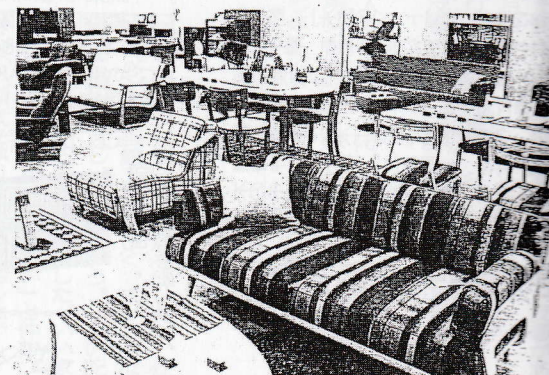
木工会館での修理の実演は、17日午前10時から午後2時からの2回。問い合わせは事務局(電088(622)8840)。(谷利彦)

会館は木工会館と連動して、木工会館の「春の木工まつり」in FURUICHIを7月11日、松茂町笹木野の木工会館で開く。

これまで木工まつりは徳島市立木工会館で行われていたが、スペースの関係上、部屋のトータルコーディネートでは大型の家具のベッドや食器棚を設置できなかった。来場者に部屋のイメージを感じてもらおうと、会場を木工会館2階の木工会館に移動した。

お買い得品・雑貨の展示即売も

県内の家具・木工品に親しんでもうため、お買い得品のコーナーも設置。企業の在庫品からソファやダイニングセット、人気のテレビボードなど大型の物から、手鏡



前回の木工まつりに出品されたダイニング・リビングセットの家具—徳島市立木工会館



昔の雰囲気 会場包む

「昔の雰囲気」を感じ、時がたつのを忘れる」と魅力を話す。

音響機は、約10年かけて骨とつ品店で購入。月に一度は大阪に出掛け、気に入ったものがあれば買い求める。映画ポスターの収集もしており、展示会は2年前の映画グッズ展に続き2回目。「これからも昔のラジオなど秘蔵品を展示したい」と意欲をい

徳島新聞 2010年1月19日

ぴーぷる

人気ドラマで使用

家具と並んで 華麗にパチリ

徳島新聞 2007.5.4

テレビドラマ「華麗なる一族」に使われた家具を徳島市立木工会館で公開している市地産物振興協会は7日から、家族連れを対象に家具の記念撮影サービスを始める。四月二十八日の公開以来、連日百人以上が来館。「写真を撮りたい」という希望が多いため、家具メーカーから撮影許可を得た。

7日から徳島市立木工会館

開館する十日までの四府町の家具メーカー北日間、毎日五家族まで受け付ける。家族の物語にふさわしい光沢のある仕上げや、対称を家族に合った家具を見に来ているのが撮影し、ラミネート加工はドラマを見ていたという人たちが多く、連休中展示しているのは、同二十八日は四百人が訪れ、家族で人気タレントの木村拓哉さんが演じる方

撮影サービスは無料。一家族が毎年正月を過ごすホテルで使われたダイニングセットや応接セット(088(626)245)など三十点。徳島市国3。

家族対象に記念撮影